

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	中山間地域振興対策事業				
所管部局	総務部	部局長名	森田 恵介	予算事業名	職員給与費
所管部署	総合政策課	所属長名	大野 正貴	予算事業科目(平成26年度)	010201010801

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け	
施策の大綱	05 まちの環
政策	25 美しく快適なまちの形成
施策	75 バランスの取れた都市の形成

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務	施策取組方針
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他(計画、覚書等)	高知市中山間地域振興審議会答申		

都市地域、自然地域それぞれの地域特性を活かすバランスの取れた適正な土地利用を進め、効率的で快適な生活空間の形成に努めます。
特に、中山間地域ゾーンにおいては、集落機能の維持を図るため、遊休地や空き家などの地域資源の活用による定住の促進に取り組むとともに、都市と農山村交流の推進に努めます。また、田園地域ゾーンにおいては、農地の保全や農業振興に努めるとともに、良好な居住環境の確保と適正な土地利用を図りながら、活力のある地域づくりに努めます。

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	中山間地域(鏡, 土佐山, 旧高知市北部地域)の市民	
意図	どのような状態にしていくのか	中山間地域を取り巻く現状や課題について改めて調査し、その結果を今後の施策展開に反映させ、課題解決と振興を図っていく	
手段	事業実施体制等	中山間地域における生活状況、地域課題等の実態把握調査を行う	
		事業開始年度 平成25年度 事業終了年度 -	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●調査結果について、各種計画・施策等へ反映させ、課題解決と振興を図る。 ●高知県等関係機関との連携を図りながら、必要な対策を検討していく。 	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A		
	B		
	C		

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)			2,985			(内訳) 依託料(調査依託) 2,625千円 役員費(郵送費) 308千円 需用費 52千円
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	0	2,985	0	
	翌年度への繰越額 (千円)			0				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	0	2,920	720	26年度は中山間地域実態把握調査は未実施のため、人役数が減少。	
		正規職員 (千円)	0	0	2,920	720		
		その他 (千円)						
人役数 (人)				0.40	0.10			
正規職員 (人)				0.40	0.10			
その他 (人)								
総コスト= ① + ② (千円)		0	0	5,905	720			
市民1人当たりコスト (円)		0	0	18		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		337,875	338,397	336,845				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

調査により把握した中山間地域の現状と課題について、今後の施策展開に反映させ、中山間地域の振興を図ることにより、住民の地域外への流出を防ぐとともに、県外・地域外からの移住者を増加させることが成果となる。
また、中山間の課題としては、飲料水供給施設のリニューアルや今後の補助のあり方等ハード整備に加え、後継者不足への対応等多岐にわたっており、さまざまなニーズの掘り下げが必要であり、地道で中長期的な取組が求められている。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	総合計画においては、 政策：美しく快適なまちの形成 施策：バランスのとれた都市の形成として中山間地域の特性や資源・機能を活かし、魅力的なまちづくりをすすめる こととされており、今後、中山間地域の振興を図るため、鏡・土佐山地区に加えて旧市内北部の中山間地域における実態調査を実施し、ニーズや課題を把握したうえで優先順位を付け、今後の事業展開に繋げて行く。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
事業実施の必要性	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A	5.0	総合計画においては、 政策：美しく快適なまちの形成 施策：バランスのとれた都市の形成として中山間地域の特性や資源・機能を活かし、魅力的なまちづくりをすすめる こととされており、今後、中山間地域の振興を図るため、鏡・土佐山地区に加えて旧市内北部の中山間地域における実態調査を実施し、ニーズや課題を把握したうえで優先順位を付け、今後の事業展開に繋げて行く。
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	今回初めて中山間地域の実態調査を実施したことにより、地域の生活実態や地区ごとの様々な課題が浮き彫りとなり、【見える化】された。また25年度から着手した移住・定住の取組等、市の施策と関連付けた内容についても調査することで、今後の施策実施に当たっての有益な情報が得られた。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
事業内容の有効性	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B	3.0	今回初めて中山間地域の実態調査を実施したことにより、地域の生活実態や地区ごとの様々な課題が浮き彫りとなり、【見える化】された。また25年度から着手した移住・定住の取組等、市の施策と関連付けた内容についても調査することで、今後の施策実施に当たっての有益な情報が得られた。
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	4.0	実態調査にあたっては関係各課が積極的に連携すると共に、民間委託により効率的な実施となるよう努めた。また、調査項目の検討段階から高知大学教授等、有識者の意見も取り入れて実施しており、専門性が発揮されたと考えている。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の効率性	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B	4.0	実態調査にあたっては関係各課が積極的に連携すると共に、民間委託により効率的な実施となるよう努めた。また、調査項目の検討段階から高知大学教授等、有識者の意見も取り入れて実施しており、専門性が発揮されたと考えている。
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	4.0	中山間地域の人口減による衰退は全国的な問題でもあり、今回の事業については国において特別交付税が措置されている。また、調査項目の検討段階から高知大学教授等有識者の協力のもと進めると共に、関係各課が積極的に連携して行った。また、入札により業者選定することで、最小の費用で最大の効果が上がったと考えている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
事業実施の公平性	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A	4.0	中山間地域の人口減による衰退は全国的な問題でもあり、今回の事業については国において特別交付税が措置されている。また、調査項目の検討段階から高知大学教授等有識者の協力のもと進めると共に、関係各課が積極的に連携して行った。また、入札により業者選定することで、最小の費用で最大の効果が上がったと考えている。
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	16.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	平成25年度に、高知大学の協力により調査項目を決定の上、中山間地域実態調査を民間に委託により実施した。 また、この調査結果を受け、平成26年度には飲料水供給施設の維持管理への補助の在り方について検討を開始すると共に、中山間地域の区長と市長との意見交換会を開催した。 今後は、実態調査結果を分析や、意見交換会でいただいた要望などを中心に地域課題の把握に努め、今後の施策展開を行っていく。
<input type="radio"/> B 改善を検討し、事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--